

特集 北海道 環境

広大な大地 豊かな自然 木

寒冷地の北海道でもEVの関心が高まっている



北海道らしい循環型社会を

北海道内の自動車業界が、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）の実現に向けた取り組みを進めている。電気自動車（EV）の販売促進や使用済み自動車の着実なリサイクルなどを通じて、二酸化炭素（CO₂）排出量の低減につなげる構えだ。豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐために環境保全活動の重要性が増している。

心の豊かさを感じる
快適な環境創出

北海道は全国の22%を占める広大な大地に都市が点在する広域分散型の地域構造を有し、自由に移動ができる自動車は、日常生活や地域の産業に

で激しい雨が降る頻度が増加するなど、地球温暖化が一因と考えられる気候変動の影響が見受けられる。

こうした問題に長期的

な視点で取り組むため
道では2000年3月
に、50年までに道内の温
室効果ガス排出量を実質
ゼロとする「ゼロカーボ
ン北海道」を表明した。
自動車の分野でも、より
CO₂の排出が少ない次
項などを明らかにし、施
策の総合的かつ計画的な
推進を図るため、199
8年3月に「環境基本計
画(第一次計画)」を策
定した。この計画の下、
環境に関する各種の施策
を講じてきたことによ

電動車の普及 着実なリサイクル



道は環境イベントで次世代車の普及啓発に努めている

り、大気環境や河川の水環境などは、おおむね良好な状態が保たれている。一方、野生生物とのあつきの発生や地球温暖化の原因の一つと考えられる豪雨災害、プラスチックごみによる海洋汚染などといった新たな課題が生じている。

このような環境の変化や、これまでの計画の進

ちよく状況を踏まえ、道では、循環と共生を基調とし環境負荷を最小限に抑えた持続可能な北海道を目指して、2021年3月に「北海道環境基本計画（第3次計画）」を策定した。地域から取り組む地球環境の保全や北海道らしい循環型社会の形成、人と自然が共生する豊かな環境の保全と創出、緑や水辺とのふれあいづくりの促進など、心の豊かさが感じられる快適な環境の創出に努めている。

エコドライブの
実践も呼びかけ

今後も道民や事業者、民間団体と連携し、環境に配慮した持続可能なライフスタイルや事業活動の実践に取り組むことで、豊かな自然やきれいな大気や水といった良好な環境を未来にしっかりと引き継ぐ考えだ。

ため、道では、燃費向上によるCO₂排出量の削減のほか、経済的な負担減や安全運転の推進にもつながるエコドライブの実践を呼びかけるともに、使用段階でCO₂を排出しないEVや水素を燃料とした燃料電池車（FCV）をはじめとした環境性能が高い次世代自動車の普及啓発を実施している。

新型車の登場で 関心高まるEV

うち、約2割が運輸部門
由来で、このうち約86%
が自動車からの排出た
(23年度)。

多くを占める自動車から
のCO₂排出を抑える
道内ディーラーもこれ
に呼应し、EVをはじめめ
環境対応車の販売促進に
取り組んでいる。北海道
は冬場の厳しい寒さや降
雪量の多さ、車での移動

EVの販売比率が低い。

しかし、メーカー各社がEVの新型車を相次いで投入し、バリエーションが広がった。何より道内ディーラーが、EVの商品知識習得に力を入れ、営業スタッフの提案力強化に取り組みなど積極的に販売する体制を整えたこともあり、EVの関心が高まりつつある。

EV以外にも、プラグインハイブリッド車（PHEV）やFCV、次世代バイオディーゼル燃料を使用するクリーンディーゼル車など、全方位戦略で需要喚起を図り、脱炭素社会の実現につなげる方針だ。

TOYOTA

この時代の、 当たり前前の景色へ。

bZ4X

NEW!
**bZ4X
TOURING**

札幌トヨタ

お客様相談電話番号
☎0120-030040
〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3-8

くわしくはWEBで
チェック♪
札幌トヨタ

友だち募集中心！
**LINE公式
アカウント
はこちら→**

札幌トヨタの
中古車在庫を
簡単検索！

特販部 札幌支店 札幌支店サービスセンター 南5条店 東苗穂店 月寒支店 東札幌店	室蘭支店 伊達店 小樽支店	札幌市内・近郊 新車取り扱い店舗	室蘭・小樽・苫小牧・岩見沢地区 新車取り扱い店舗	大曲店 恵庭店 琴似支店 西野店 八軒店 手稲店 北光支店	余市店 岩内店 倶知安店	〓011-231-9711 〓011-261-3211 〓011-299-6311 〓011-533-6311 〓011-783-2811 〓011-851-6121 〓011-823-2311	〓011-377-5611 〓0123-32-3171 〓011-621-1111 〓011-665-3111 〓011-641-6511 〓011-683-4111 〓011-711-7191	新道店 新琴似店 石狩店 白石支店 北郷店 厚別店 千歳店	〓011-784-7211 〓011-763-8811 〓0133-74-3201 〓011-864-1171 〓011-875-3111 〓011-898-1111 〓0123-26-3345	藻汐店 江別店	〓011-581-3151 〓011-382-2114	中古車取り扱い店舗 T-ZONE南郷店	〓011-669-1111 〓011-864-4711	中古車取り扱い店舗 室蘭中古車課 苫小牧中古車課	〓0144-84-3333 〓0126-22-3181 〓0125-22-2116	Instagram 「スタッフのひとりごと」 おクルマの役立つ情報をお届けします♪	 新型車 情報 イベント 情報 スタッフ オフショット	
---	---------------------	---------------------	-----------------------------	---	--------------------	---	---	---	---	------------	--------------------------------	------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---	---	---	--

札幌トヨタ
スタッフのひとりごと

ROOX ルークス

上質で洗練されたデザイン。視界が広がる。私も広がる。



KICKS キックス

遊び心を、KICKSる。



X-TRAIL エクストレイル ロッククリーク

タフギアは、さらなる高みへ。新たな冒険、始まる。



北海道日産

お客様相談窓口
フリーダイヤル ☎0120-090823
札幌市東区北19条東1丁目2番20号

札幌日産

お客様相談窓口
フリーダイヤル ☎0120-098423
札幌市中央区大通西17丁目1番地23

日産プリンス札幌

お客様相談窓口
フリーダイヤル ☎0120-404923
札幌市豊平区月寒中央通11丁目6番37号

道内の環境車動向

燃料別乗用車道内保有台数(2026年3月末現在)

管内別	ガソリン				軽油				ガソリンHV				EV			その他			保有台数 合計
	保有台数	前年同月	前年同月比 (増減)	構成比	保有台数	前年同月	前年同月比 (増減)	構成比	保有台数	前年同月	前年同月比 (増減)	構成比	保有台数	前年同月	前年同月比 (増減)	保有台数	前年同月	前年同月比 (増減)	
札幌	593,237	619,603	▲4.3	63.8	58,608	56,465	3.8	6.3	262,807	241,348	8.9	28.3	2,067	1,756	17.7	13,134	11,861	10.7	929,853
函館	90,958	95,545	▲4.8	66.8	7,071	7,018	0.8	5.2	36,220	33,591	7.8	26.6	247	225	9.8	1,592	1,441	10.5	136,088
旭川	150,572	157,671	▲4.5	66.8	13,362	13,093	2.1	5.9	58,992	55,065	7.1	26.2	424	392	8.2	2,132	1,914	11.4	225,482
室蘭	109,879	114,990	▲4.4	63.1	10,073	9,725	3.6	5.8	52,353	49,162	6.5	30.1	303	266	13.9	1,609	1,472	9.3	174,217
釧路	77,817	81,796	▲4.9	64.8	8,588	8,459	1.5	7.2	32,404	30,165	7.4	27.0	214	192	11.5	1,029	895	15.0	120,052
帯広	92,387	96,549	▲4.3	63.8	10,688	10,418	2.6	7.4	39,554	36,686	7.8	27.3	468	429	9.1	1,635	1,444	13.2	144,732
北見	71,207	74,632	▲4.6	66.5	7,678	7,620	0.8	7.2	27,077	25,068	8.0	25.3	202	190	6.3	988	900	9.8	107,152
全道	1,186,057	1,240,786	▲4.4	64.5	116,068	112,798	2.9	6.3	509,407	471,085	8.1	27.7	3,925	3,450	13.8	22,119	19,927	11.0	1,837,576

単位:台、%、▲はマイナス

出所:燃料別保有車両数月報(北海道運輸局調べ)



バイオ燃料で走行するリンディーゼル車も
選択肢の一つ

EVの保有台数は札幌管内で
伸びている



厳しい冬、長い移動距離 ハンデあっても

一方ガソリンHVも同8.1%増の50万9407台と、依然好調に推移している。保有全体に占める構成比は27.7%と、前年に比べ2.2%上昇した。

降雪量の多い北海道での販売を左右する4WDの設定が各モデルで進んだことも市場で支持される要因だ。今後ガソリンHVは環境対応車の一番手としてシェアを伸ばすことが予想される。

年々、温暖化が進む北海道。脱炭素社会実現に向けてはHVやEVだけでなく、プラグインハイブリッド車(PHV)や燃料電池車(FCEV)、バイオディーゼル燃料を使用するクリーンディーゼル車など多様な選択肢を用意する全方位戦略が一層重要となりそうだ。

四駆設定増えHVも善戦

四駆設定増えHVも善戦

管内的のEVの保有台数では、札幌が同17.7%増の2067台と最も伸び幅が大きく、室蘭は同13.9%増の303台、釧路は同11.5%増の214台と2桁増となった。パラつきはあるものの、すべての管内で増加している。

新型車の投入でEVは車種のバリエーションが豊富になり、商品力の強化や補助金の効果もあってユーザーの関心が高まっている。代替・増車の候補として、今後も引き合いは強まりそうだ。

管内的のEVの保有台数では、札幌が同17.7%増の2067台と最も伸び幅が大きく、室蘭は同13.9%増の303台、釧路は同11.5%増の214台と2桁増となった。パラつきはあるものの、すべての管内で増加している。

新型車の投入でEVは車種のバリエーションが豊富になり、商品力の強化や補助金の効果もあってユーザーの関心が高まっている。代替・増車の候補として、今後も引き合いは強まりそうだ。

めるEVの販売比率は低かった。それでも、相次ぐ新型車投入によるラインアップの拡充だけでなく、ディーラー各社が積極的に提案活動を展開している効果もあり、道内でも緩やかなペースながら販売台数は増加傾向を示している。

ラインアップ充実 積極提案が効果

存在感じわりEV

寒冷地の北海道で電気自動車(EV)の普及が進んでいる。北海道運輸局がまとめた燃料別保有車両数月報によると、2026年3月末の乗用車の保有台数は前年同月比0.6%減の183万7576台と落ち込んだが、EVは同

13.8%増の3925台と2桁増となった。新型車の投入やディーラー各社の地道な提案活動の効果もあり、道内でもEVの存在感が高まっている。

この時代の、 当たり前な景色へ。

bZ4X Touring

北海道地区車両本体価格帯(税込)
Z(FWD) 5,750,000円 ~ Z(4WD) 6,400,000円

Photo Z(4WD)。ボディカラーのクリスタルブラックシリカ×ブリリアントブロンズメタリック(550円はメーカーオプション(55,000円税込)。235/50R20タイヤ&20×7 1/2リアルミホイール(ブラック塗装/エアロホイールカバー【マットブラック塗装】/センターステップ)はメーカーオプション(82,500円税込)。 ■写真は合成です。

●掲載価格は消費税(10%)込の価格です。価格はすべて、メーカー希望小売価格(消費税込み)で参考価格です。●価格には保険料・税金(消費税除く)・自動車リサイクル料金・その他登録に伴う費用は含まれておりません。●価格はパンク修理キット、タイヤ交換用工具付の価格です。※お客様の要望に基づくオプション等の費用は別途申し受けます。掲載情報は令和8年6月現在です。※各種車両の販売状況についてはスタッフまでおたずねください。

地域の未来に“ワドキ”を。

旭川トヨタ

本社/北海道旭川市4条通2丁目
TEL 0166-22-6111

フリーダイヤル ☎0120-03-6767

公式HP
Instagram

旭川市内
旭川店 ☎0166(22)6112
タムザ車庫店 ☎0166(61)8111
永山店 ☎0166(48)1571
米田店 ☎0166(54)2911
東光店 ☎0166(33)0393
U-CARステーション ☎0166(61)0120

旭川近郊・道北地区
雄勝店 ☎0162(23)4680
枝幸店 ☎0163(62)1611
網走店 ☎0164(42)3555
美幌店 ☎0165(42)3185
名寄店 ☎0165(42)3185
士別店 ☎0167(22)3175
深川店 ☎0164(23)4311
羽幌店 ☎0164(62)3541

北見・紋別・網走地区
北見店 ☎0157(24)2191
紋別店 ☎0158(24)3161
網走店 ☎0158(42)3185
美幌店 ☎0162(73)4151
網走店 ☎0162(43)4231
網走店 ☎0162(23)3191

BEV 電気自動車

100%電気だけで走行。
気分も暮らしも、丸ごとアップデート。
エンジンは積んでおらず、
バッテリーに蓄えた電気だけで走ります

自宅や外出先で充電して走行!

環境に配慮したライフスタイルを実現!

燃料	駆動	クルマからの給電
電気	モーター	電力供給 最大1500W

bZ4X TOURING

Eco Car Drive

走りにも環境にも こだわるあなたへ。

AGH トヨタ札幌

CROWN “ESTATE”

PHEV プラグインハイブリッド車

電気でも、ガソリンでも走れる。
いいところ取りのオールラウンダー。
外部からも充電できるので、普段は電気のみ、
必要な時だけガソリンを使って走行

電気だけで走るときはCO₂もゼロ!

BEVとHEVのいいところ取り!

燃料	駆動	クルマからの給電
電気とガソリン	近距離 モーター 遠距離 エンジン+モーター	電力供給 最大1500W

道内ディーラー各社の環境活動

札幌トヨタ

毎月の会議で施策
考え全社に発信

札幌トヨタ(相茶省三
長兼社長)は環境保全の取
組みの一環として電気自
動車(EV)の販売に力を
入れている。

トヨタ自動車の電動車販
売の資格「マルチパスウェ
イスペシャリスト」を持つ
車両マネージャーと、「マ
ルチパスウェイアドバイザ
ー」の松岡憲一取締役が毎
月、車両会議後に販売施策
を考えている。営業スタッ
フへの落とし込みも含めて
議論し、全社に発信してい
る。

ユーザー向けにはSNS
を積極的に活用している。
自社のインスタグラムのチ
ャンネルでは「bZ4Xで
行く部長の大冒険」という
タイトルで投稿している。

松岡取締役がbZ4Xを運
転して道内各地に出かける
内容だ。走行ルートと走行
距離、充電場所や電費など
を紹介しており、函館、根
室、稚内編を投稿した。

7月にはbZ4Xのロー
ルプレイング大会を開催
する。好事例を全店舗で共
有し、提案力の向上につな
げる考えだ。

4月にはモニターキャン
ペーンを実施した。4日
間、bZ4Xを貸し出し、
加速性能や静粛性を体感し
てもらった。「これから購
入につながったケースもあ
る」(松岡取締役)と効果
が表れている。

外部イベントでもEVを
PRしている。2月に札幌
市内で雪上試乗会を開催。
6月には北広島市の環境関
連イベントに出展した。今
後は大型商業施設などでも
訴求する。

雪上試乗会など
イベントでもPR

トヨタ自動車の電動車販
売の資格「マルチパスウェ
イスペシャリスト」を持つ
車両マネージャーと、「マ
ルチパスウェイアドバイザ
ー」の松岡憲一取締役が毎
月、車両会議後に販売施策
を考えている。営業スタッ
フへの落とし込みも含めて
議論し、全社に発信してい
る。

ユーザー向けにはSNS
を積極的に活用している。
自社のインスタグラムのチ
ャンネルでは「bZ4Xで
行く部長の大冒険」という
タイトルで投稿している。

松岡取締役がbZ4Xを運
転して道内各地に出かける
内容だ。走行ルートと走行
距離、充電場所や電費など
を紹介しており、函館、根
室、稚内編を投稿した。

7月にはbZ4Xのロー
ルプレイング大会を開催
する。好事例を全店舗で共
有し、提案力の向上につな
げる考えだ。

4月にはモニターキャン
ペーンを実施した。4日
間、bZ4Xを貸し出し、
加速性能や静粛性を体感し
てもらった。「これから購
入につながったケースもあ
る」(松岡取締役)と効果
が表れている。

外部イベントでもEVを
PRしている。2月に札幌
市内で雪上試乗会を開催。
6月には北広島市の環境関
連イベントに出展した。今
後は大型商業施設などでも
訴求する。

雪上試乗会など
イベントでもPR

トヨタ自動車の電動車販
売の資格「マルチパスウェ
イスペシャリスト」を持つ
車両マネージャーと、「マ
ルチパスウェイアドバイザ
ー」の松岡憲一取締役が毎
月、車両会議後に販売施策
を考えている。営業スタッ
フへの落とし込みも含めて
議論し、全社に発信してい
る。

ユーザー向けにはSNS
を積極的に活用している。
自社のインスタグラムのチ
ャンネルでは「bZ4Xで
行く部長の大冒険」という
タイトルで投稿している。

松岡取締役がbZ4Xを運
転して道内各地に出かける
内容だ。走行ルートと走行
距離、充電場所や電費など
を紹介しており、函館、根
室、稚内編を投稿した。

7月にはbZ4Xのロー
ルプレイング大会を開催
する。好事例を全店舗で共
有し、提案力の向上につな
げる考えだ。

4月にはモニターキャン
ペーンを実施した。4日
間、bZ4Xを貸し出し、
加速性能や静粛性を体感し
てもらった。「これから購
入につながったケースもあ
る」(松岡取締役)と効果
が表れている。

外部イベントでもEVを
PRしている。2月に札幌
市内で雪上試乗会を開催。
6月には北広島市の環境関
連イベントに出展した。今
後は大型商業施設などでも
訴求する。

雪上試乗会など
イベントでもPR

トヨタ自動車の電動車販
売の資格「マルチパスウェ
イスペシャリスト」を持つ
車両マネージャーと、「マ
ルチパスウェイアドバイザ
ー」の松岡憲一取締役が毎
月、車両会議後に販売施策
を考えている。営業スタッ
フへの落とし込みも含めて
議論し、全社に発信してい
る。

ユーザー向けにはSNS
を積極的に活用している。
自社のインスタグラムのチ
ャンネルでは「bZ4Xで
行く部長の大冒険」という
タイトルで投稿している。

松岡取締役がbZ4Xを運
転して道内各地に出かける
内容だ。走行ルートと走行
距離、充電場所や電費など
を紹介しており、函館、根
室、稚内編を投稿した。

7月にはbZ4Xのロー
ルプレイング大会を開催
する。好事例を全店舗で共
有し、提案力の向上につな
げる考えだ。

4月にはモニターキャン
ペーンを実施した。4日
間、bZ4Xを貸し出し、
加速性能や静粛性を体感し
てもらった。「これから購
入につながったケースもあ
る」(松岡取締役)と効果
が表れている。

外部イベントでもEVを
PRしている。2月に札幌
市内で雪上試乗会を開催。
6月には北広島市の環境関
連イベントに出展した。今
後は大型商業施設などでも
訴求する。

雪上試乗会など
イベントでもPR

トヨタ自動車の電動車販
売の資格「マルチパスウェ
イスペシャリスト」を持つ
車両マネージャーと、「マ
ルチパスウェイアドバイザ
ー」の松岡憲一取締役が毎
月、車両会議後に販売施策
を考えている。営業スタッ
フへの落とし込みも含めて
議論し、全社に発信してい
る。

ユーザー向けにはSNS
を積極的に活用している。
自社のインスタグラムのチ
ャンネルでは「bZ4Xで
行く部長の大冒険」という
タイトルで投稿している。

松岡取締役がbZ4Xを運
転して道内各地に出かける
内容だ。走行ルートと走行
距離、充電場所や電費など
を紹介しており、函館、根
室、稚内編を投稿した。

7月にはbZ4Xのロー
ルプレイング大会を開催
する。好事例を全店舗で共
有し、提案力の向上につな
げる考えだ。

4月にはモニターキャン
ペーンを実施した。4日
間、bZ4Xを貸し出し、
加速性能や静粛性を体感し
てもらった。「これから購
入につながったケースもあ
る」(松岡取締役)と効果
が表れている。

外部イベントでもEVを
PRしている。2月に札幌
市内で雪上試乗会を開催。
6月には北広島市の環境関
連イベントに出展した。今
後は大型商業施設などでも
訴求する。

雪上試乗会など
イベントでもPR

トヨタ自動車の電動車販
売の資格「マルチパスウェ
イスペシャリスト」を持つ
車両マネージャーと、「マ
ルチパスウェイアドバイザ
ー」の松岡憲一取締役が毎
月、車両会議後に販売施策
を考えている。営業スタッ
フへの落とし込みも含めて
議論し、全社に発信してい
る。

ユーザー向けにはSNS
を積極的に活用している。
自社のインスタグラムのチ
ャンネルでは「bZ4Xで
行く部長の大冒険」という
タイトルで投稿している。

松岡取締役がbZ4Xを運
転して道内各地に出かける
内容だ。走行ルートと走行
距離、充電場所や電費など
を紹介しており、函館、根
室、稚内編を投稿した。

7月にはbZ4Xのロー
ルプレイング大会を開催
する。好事例を全店舗で共
有し、提案力の向上につな
げる考えだ。

4月にはモニターキャン
ペーンを実施した。4日
間、bZ4Xを貸し出し、
加速性能や静粛性を体感し
てもらった。「これから購
入につながったケースもあ
る」(松岡取締役)と効果
が表れている。

外部イベントでもEVを
PRしている。2月に札幌
市内で雪上試乗会を開催。
6月には北広島市の環境関
連イベントに出展した。今
後は大型商業施設などでも
訴求する。

雪上試乗会など
イベントでもPR

トヨタ自動車の電動車販
売の資格「マルチパスウェ
イスペシャリスト」を持つ
車両マネージャーと、「マ
ルチパスウェイアドバイザ
ー」の松岡憲一取締役が毎
月、車両会議後に販売施策
を考えている。営業スタッ
フへの落とし込みも含めて
議論し、全社に発信してい
る。

ユーザー向けにはSNS
を積極的に活用している。
自社のインスタグラムのチ
ャンネルでは「bZ4Xで
行く部長の大冒険」という
タイトルで投稿している。

松岡取締役がbZ4Xを運
転して道内各地に出かける
内容だ。走行ルートと走行
距離、充電場所や電費など
を紹介しており、函館、根
室、稚内編を投稿した。



bZ4Xシリーズの販売に注力する

急速充電器の設置広げEV普及後押し



急速充電器はEVの納車整備時の業務改善にも役立っている

タムザ神居店での
運用スタート

旭川トヨタ(西河秀人社
長)は、タムザ神居店に急
速充電器を設置して運用を
開始した。全店舗に備える
200瓩の充電器に加え、
「bZ4X」などの大容量
電池を搭載するバッテリー
EV(EV)にも迅速に対
応できる50瓩時と100
瓩時規格の充電器をそれ
ぞれ1機ずつ用意した。E
V普及のために設備を整
え、モデルの特色の発信に
もつなげていく。

トヨタをはじめとした自
動車メーカーは、走行中の
温室効果ガス削減を目指し
て電動車のラインアップ拡
充を図る。トヨタでは、豊
富なハイブリッド車に加え
「RAV4」などのプラグ
インハイブリッド車でも急
速充電に対応するモデルが
増え、電動車の選択肢は広
がっている。一方で、道内
におけるEVの普及に向け
ては「走行距離や駆動方
式、充電時間に対するイメ
ージがハードルとなってい
る」との指摘は根強い。同
社はインフラを整え、モデ
ルに触れてもらいながらE
Vへの理解と興味喚起を図
る。

旭川トヨタは、環境に配
慮したライフスタイルに注
目が集まっていることや物
価高騰を背景に維持費が割
安になる特徴を訴求しなが
らEVを普及させていきたく
い考え。タムザ神居店
では、サービス入庫した顧客
の待ち時間にbZ4Xの試
乗を提案しており、件数も
順調に伸びている。試乗を
通じて静粛性や雪上におけ
る走破性の高さに驚くユー
ザーも多いという。

電動ドライブステーション3店舗展開



グループで連携して電動車の普及に取り組む

北海道三菱

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

グループ企業との
連携で紹介も

電動ドライブステーション
の南店(札幌市南区)は
店内に、V2Hを体験する
ためのスペースを用意す
る。停電が発生した際も、
車両から給電して家電を稼
働できることを実演する。
2018年に発生した胆振
東部地震の停電では、V2
Hを利用して携帯電話の充
電を行うなど、顧客だけで
なく近隣住民の生活復旧に
期待が寄せられている。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

体感を通じて環境
性能や特徴を発信

北海道三菱(別府雅史社
長)は札幌市内に「電動ド
ライブステーション」を3
店舗展開する。急速充電器
や車両から建屋に給電でき
る「V2H(ビークル・ト
ウ・ホーム)」機能を備
え、自動車の新たな使い方
を体感してもらいながら環
境性能や特徴を発信する。
また、顧客の要望に応じた
グループ企業の輸入車ディ
ーラーの紹介もスタートし
た。

あなたの人生に、
まだ見ぬ新しい景色をひらく。

INSIGHT

Photo: INSIGHT (FF)



Honda Cars 北海道

株式会社ホンダモビリティ北海道

本社 札幌市北区北6条西1丁目1-3 The Link Sapporo 5F
TEL 011-391-0111

宮の森店 TEL 011-644-9301	環状通白石店 TEL 011-874-4101
西町店 TEL 011-664-1401	白石本通店 TEL 011-862-2711
八軒東店 TEL 011-736-9301	月寒羊ヶ丘店 TEL 011-856-3311
手稲宮の沢店 TEL 011-685-8811	南32条店 TEL 011-582-8400
手稲前田店 TEL 011-688-0888	南小樽店 TEL 0134-34-1401
太平店 TEL 011-770-2020	旭川大橋店 TEL 0166-26-3311
北32条店 TEL 011-726-1301	永山店 TEL 0166-48-1291
北38条店 TEL 011-751-9301	ツインハーブ旭神店 TEL 0166-60-8811
百合が原店 TEL 011-722-4101	紋別店 TEL 0158-24-5194
環状通東店 TEL 011-784-3661	

北海道マツダ

千葉英幸取締役
専務執行役員



活動が広がっていく」と挑
戦を続ける方針だ。

次世代バイオ燃料「サステオ」活用提案

札幌苗穂店に 簡易給油機を設置

北海道マツダ(横井隆社長)は、脱炭素社会の実現に向け、軽油に水素化植物油(HVO)を51%混合したユグレナの次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」とクリーンディーゼル車を組み合わせた活用を道内全域の企業や自治体に提案している。広大な寒冷地の北海道でも安心して車両を使用でき、「燃料をサステオに替えるだけで脱炭素に貢献できる」(千葉英幸取締役専務執行役員)利点を訴求している。

ファンフェスタで 取り組み紹介

8月には、十勝スピードウェイ(更別村)で開催するマツダオール北海道ファンフェスタで取り組みを紹介する。北海道マツダでは公式パートナーとして先導車の提供やブース出展を通じて訴求する予定だ。

北海道マツダは昨年4月に函館マツダと合併した。全道をエリアとする広域ディーラーとして、北海道に適した脱炭素の取り組みを提案する。千葉専務は「賛同する企業や自治体の皆さまとサステオを使うことで活動が広がっていく」と挑戦を続ける方針だ。



バイオ燃料を使うCX-80のデモカー

昨年札幌苗穂店(札幌市中央区)にサステオの簡易給油機を設置した。多くの企業や自治体の関係者が見学し、メディアでも取り上げられたことで認知度が向上した。

各地のイベントでも環境保全活動のPRを強化している。1月のジャパンモビリティショー札幌ではユグレナと平野石油との合同ブースを出展し、デモカーを展示した。千葉専務は「多くの道民の皆さまにお伝えできた。こういう活動を続けることが大切だ」と力説する。

相次ぐ新型EV発売で現場に活気

ホンダモビリティ北海道

スパーワン 出足好調で手応え

ホンダモビリティ北海道(山田智儀社長)は電気自動車(EV)の販売を強化している。4月に「インサイト」、5月に「スパーワン」を発売し、店頭は新型EV目当ての来場者でにぎわう。

インサイトについては「先進的なものに興味がある方が多く、指名で来店している」(古館店長)とスパーワンとのすみ分けができていくようだ。

「選択肢が広がって高まる期待」

新型2モデルの投入でホンダのEVはラインアップが拡充した。簡井部長は「お客さまに選んでいただきやすくなった」と需要拡大に期待を込める。選択肢が広がったEVの販売を通じて、二酸化炭素(CO₂)排出量ゼロに貢献する考えだ。

営業の濱島優志さんも「スポーツカー好きで、車へのこだわりが強い方も試乗すると仮想のエンジン音やブーストモードなど全く新しいEVと感じていただけに」と販売増に意欲をみせる。



簡井学部長、濱島優志さん、古館一真店長(右から)

日産グループ

ラインアップ充実のeパワー前面に

eフォース採用の 新型キックス

環境性能を高めるとともに安全装備も充実させた

日産ディーラー各社は電気自動車(EV)やシリーズハイブリッドの「eパワー」搭載モデルのラインアップを拡充して環境負荷低減や力強い走りといった顧客のニーズに応えていく。

6月18日には新型「キックス」が発売された。第3世代のeパワーや電動駆動4輪制御技術「eフォース」を採用し、燃費と走行性能を追求した。最新のeパワーユニットは、モーターやインバーター、減速機構などを統合して小型化を図り、1.4Lの発電用エンジンを搭載する。従来から静粛性や環境性能を高め、燃費はWLTCモードで前輪駆動(EF)が25.3%、四輪駆動モデルは20.4%以上を実現。一部グレードは2030年度の燃費基準10.5%を達成した。資源の再利用による循環にも配慮しており、

高品質の各種装備
期待高まる最前線

新型キックスは、販売の現場からの期待も高い。デザインの新刷新や各種装備の品質向上で「旧モデルから車格が上がった」(ディーラー関係者)こともあり、ダウンサイジングだけでなく下のクラスからの乗り換えにも期待を寄せる。ディーラー各社では、試乗によるeパワーの利点体感を進め、販売促進を行っている。



道内ディーラー各社の環境活動

カーボンニュートラルに向けた取り組みを未来に向けて

脱炭素社会に向けて「サステオ」を導入

北海道マツダ(全道51拠点)は「持続可能な社会の実現」に向けた取り組みの一環として、軽油にHVO*51%を混合した次世代バイオディーゼル燃料である株式会社ユグレナの「サステオ」を脱炭素社会実現に向けた取り組みの一つとして導入しています。

*HVO...Hydrotreated Vegetable Oilの略。廃食油などの生物資源由来油脂を原料として製造した水素化植物油



サステオとは... 食料との競合や森林破壊といった環境問題を起こさないサステナブルな社会を実現するための燃料、それが「サステオ」です。2020年に次世代バイオディーゼル燃料を、2021年はバイオジェット燃料を供給開始し、車両・船舶・航空機で利用が拡大しています。



北海道マツダ2026
Hokkaido Marathon
オフィシャルビークルパートナー

既存のディーゼル車で脱炭素を実現
MAZDA CX-80 (バイオディーゼル燃料使用)

北海道マツダでは、オフィシャルビークルパートナーとして実際に先導車としての役割を担い、環境負荷低減を目指す取り組みの一環としてSDGsの推進にも貢献しています。



札幌市中央区北2条東1丁目 TEL.011-221-9181

www.hokkaido-mazda.co.jp



LINE



Instagram



YouTube



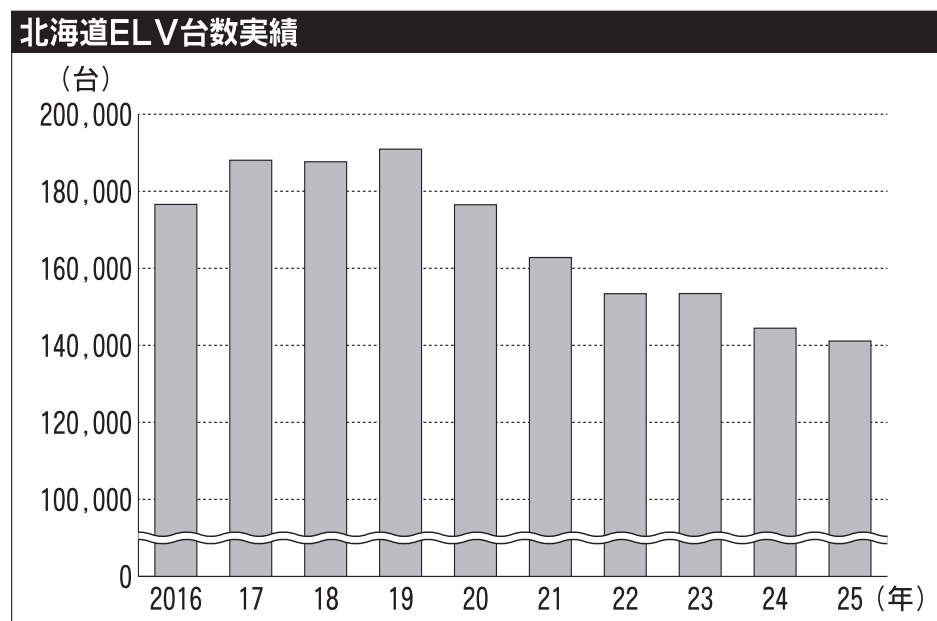
安心と信頼の商品、サービス

北海道リサイクルパーツ
優良販売店

道内の自動車リサイクル



厳しい環境下で収益を上げる工夫が求められる



過去10年の道内のELV発生台数はコロナ前の19万台超をピークに減少が続く

厳しい事業環境下で



懸命の工夫で収益確保

鉄や素材相場は 上昇トレンド

世間の高い関心を追いつく。ELVの入庫は厳しい状況が続くが、鉄や素材相場は高水準で推移しており、事業者の収益を支えている。一般社団法人日本鉄リサイクル工業会の公開する鉄スクラップ価格は、24年9月ごろからキロ当たり40円を割り込んでいたものの、25年後半から上昇トレンドに入り26年5月は50円に迫っている。また、世界情勢の不確実性の高まりを背景に、金の相場も高騰



少を記録した24年度を3千台ほど下回った。リサイクル事業者は取り巻く環境が厳しさを増す中、資源循環と収益確保に工夫を凝らす。自動車リサイクル業界では「コロナ禍を経て、車両の流通が変化し」との指摘がされて久しい。当時、新車の供給遅延が発生して中古車の需

ELV発生は依然低水準

7年連続減で250万台割る。国内における2025年度の自動車リサイクルは使用済み車(ELV)の発生が低水準となる厳しい状況が続く。自動車リサイクル促進センター(JARCO、細田衛士理事長)が発表したELVの発生台数は前年から3%減少となる約247万7千台だった。7年連続の減少となり、250万台の台数を割り込んだ。道内の発生状況は、前年比2.1%減の約14万1千件で、コロナ禍以降最

素材は高い相場となるもの多い(写真はイメージ)

5%増の19万8千台で続いた。26年に入ってから2月以降に中東情勢の不透明感が高まり一時、中東向けの輸送が難しくなったものの、新たな仕向け先の開拓や状況の改善で輸送の再開にめどが立った。このため、オークションにおける相場や成約に対する影響は限定的とみられ、引き続きリサイクル事業者は厳しい競争の中でのかじ取りが求められると見られる。

10人ほどでリサイクルパーツの生産を行う企業では、損害保険会社のオークションを利用して高年式車両を仕入れ、より需要の多い製品を製造して収益力を改善した。解体のコストは車両の状態や年式で差が生じないことから、量よりも単価に着目。月間の目標台数を元に取引先から入庫する方式から切り替えた。製品単価を引き上げたことで作業スタッフが担当する車両の台数が減少したほか、車両の経年劣化が少ないことから検品などの効率化にもつながり、働きやすさも改善されている。

体補修業界で石油由来の製品が品薄になっていることに對し、ある経営者は「補修の際に塗料を使用せず、同じ色の中古部品を使用して対応するケースも出るのはないか」とリサイクルパーツの需要拡大に期待を寄せる声も聞かれた。

JARCOのデータによると25年度のELVの平均使用年数は17.3年で前年から0.3歳延びており、車齢の長寿化もELVの減少につながっている。一方で現在、ELVとして処理されるのは08年のリーマンショックに前後して販売された新車と想定され、当時の販売台数の回復に合わせELVの下げ止まりにも期待が持てる。車両の入庫以外にも対応すべき課題は残るものの、車両生産におけるELV由来素材の再利用など資源循環や省資源に對しては注目が高まっている。将来に向けて事業者同士の連携も求められている。

JARA 環境 ISO14001 認証
地球環境はリサイクルから！

Tel 0138-49-9340
http://www.nikyo.biz

有限会社 **二協自動車商会**
本社:北海道函館市西桔梗町 862-9
Fax 0138-48-2043 e-mail:nikyo-j@sag.gr.jp
営業時間 9:00~18:00 (定休日/日・祝)

日本最大級の総在庫量!
中古部品50,000点

リベアバンパーも在庫多数!
カラードバンパーも承ります!
お問い合わせ下さい!

リサイクルを通じて地球環境に貢献
石上車輛株式会社

石上車輛 検索
http://www.ishigami.co.jp

本社電話 011-881-8777
札幌市清田区美しが丘1条4丁目1-12

資源を活かす
地球を守る

リサイクルセンター **ARUYO**

ISO 14001 認証 **伊丹車輛株式会社**

本社 札幌市白石区菊水元町1条2丁目2-6
TEL (011) 871-2580代 FAX (011) 872-8111
北広島支店 北広島市輪厚630番地(ルート36)
TEL (011) 376-3600代 FAX (011) 376-3223
産業廃棄物収集運搬 北海道 第0110013923号 札幌市 第05100013923号



インタビュー

「ゼロカーボン北海道」に向けて



**喫緊の課題
充電網の整備**

―次世代自動車の普及促進について―

「道内の次世代車の普及台数は、2023年度は約44万台、24年度は約49万台(自動車検査登録情報協会)『低公害車の燃料別・車種別保有台数』より」と着実に増えています。中でも燃料電池車(FCV)は、燃料となる水素の製造に太陽光、風力、バイオマスなど本道に豊富にある再生可能エネルギーを生かすことで、脱炭素な移動手段として使うことができ、また、災害などによる大規模停電時には発電した電気を外部に供給する自立分散型電源として、避難所への電力供給や携帯電話の充電などが可能であり、将来に向けた普及が期待されています」

交通・物流分野 引き続き重点

拡大に向けた機運醸成に取り組んでいます」

北海道の強み 生かして

「次世代車を増やしていくためには、自動車の性能面・向上のほか、充電器の整備も必要です。主要道路沿いに充電器の存在しない、いわゆる『空白地帯』を少しでも減らしていくため、道では、北海道開発局や北海道経済産業局など国の機関とも連携して、主要道路沿いにある『道の駅』への充電器設置促進に取り組んでいるところです。今後、再生可能エネルギーが豊富に存在する本道の強みを生かし、中長期的視点に立って、引き続き

拡大に向けた機運醸成に取り組んでいます」

北海道 環境生活部 環境保全局

久保 貴司 局長

EV・FCV普及の機運醸成

防災訓練におけるFCVから自動販売機への給電実演



リサイクルは着実に浸透

は、05年3月時点の約3万8千台から24年度には約500台まで大きく減少しており、使用済み自動車のリサイクルが着実に進んでいるものと認識しています」

「また、26年4月から、自動車破砕残さ(A-SR)になる前に樹脂・ガラスを回収した解体業者・破砕業者へ、減量分に相当するリサイクル料金をインセンティブとして支払う『資源回収インセンティブ制度』が導入され、道内では、北海道自動車処理協同組合がこの制度の活用を目的として、効率的な樹脂、ガラスの回収を促進するためのコンソーシアムを設立しました。これにより、解体・破砕事業者にとっては事業継続性の向上や、新たな収益源確保と設備投資の後押しとなることが期待され、道内での資源循環促進やCO₂排出削減にも寄与するものと考えています。今後は、北海道の強みを生かした循環型モデルを確立し、持続的な価値創出へとつなげていくことにより、さらなる企業成長につなげることを期待しています」

道民と意識を 共有しながら

―道内の自動車業界に向けて―

「26年3月に策定した『ゼロカーボン北海道推進計画(第2次)』では、50年までに道内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする『ゼロカーボン北海道』の実現を長期目標として維持しつつ、新たな中期目標『温室効果ガス排出量を13年度比で35年度に62%削減、40年度に76%削減』を設定しました。引き続き、重

点的に進める取り組みの一つとして『交通・物流の脱炭素化』を掲げ、次世代車の導入促進など脱炭素型の交通を構築するための取り組みや必要となる整備の促進、モーターシフトをはじめとした物流全体の効率化、運輸部門での水素モビリティの導入による脱炭素化などを進めます」



北海道三菱自動車販売株式会社

札幌市中央区南10条西10丁目1-15
TEL(011)511-3111

